

# 大洲市民文化会館 基本設計説明会資料 1

## 1. 基本方針（コンセプト）

伊予の小京都と呼ばれる大洲の城下町は、その歴史の面影の中に現代性が織り交ぜられ、大洲らしさのある「まちの賑わい」が広がっています。この大洲らしさを引き継ぎ、「大屋根」の下に市民みんなの居場所をつなぐ「おおよろ回廊」をつくります。

「おおよろ回廊」は活気に満ちた市民活動が賑わいとなって現れる城下のまちなみのような空間になります。その賑わいは大屋根の軒下から周辺に広がり、市民活動があふれる大洲のまちづくりにつながります。

今後ますます多様化・高度化する市民の文化芸術活動に柔軟かつ的確に対応でき、市民の日常的な交流や文化情報発信など、「文化芸術と市民交流」拠点施設の整備を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の大きい公共建築物のライフサイクルコストの削減のため、施設のZEB化（ZEB Ready）※の認証取得を目指しています。

※ ZEBは標準的な建築物と比べて一次エネルギーの年間消費量が大幅に削減されている建築物のことを指します。  
ZEB Readyは一次エネルギー年間消費量を50%以上削減するものです。

## 2. 建築概要等

敷地面積：16,780.83㎡ 建築面積：約3,500㎡ 最高高さ：約28.6m 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造、木造）

延床面積：約4,870㎡ 最高軒高：約26.2m 駐車台数：約300台 階数：地上4階

※ 今後の実施設計等協議により、諸室の名称や配置及び面積や高さ、その他関係する内容は変わることがあります。

## 3. 事業スケジュール

基本設計：令和5年4月～令和6年2月

実施設計：令和6年3月～令和7年3月

工事期間：令和8年度～令和10年度

オープン：令和11年度



ホールとそのまわりのシンプルな屋根で、穏やかでやさしい姿をつくります



カフェコーナー・中庭・ホワイエ



軒が市民を招き入れます。軒下にも活動の姿をまちに映し出します



サブホール（約130席）



軒下をくぐると活動の場が飛び込んできます。大屋根は一体感をつくり出します



メインホール（約630席）



